



尚操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校
尚操会

〒682-0925

鳥取県倉吉市秋喜20
倉吉西高等学校内
0858(28)-1811勝美印刷(株)
0858(35)-4411

会長挨拶

未来への新たな挑戦 尚操会の歩みと共に



尚操会会長

藤井 幸博

(西高第24回卒業生)

会員の皆様におかれましては、日々充実したお時間をお過ごしのことと存じます。尚操会の活動につきまして、日頃から深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

昨年(令和6年)母校は創立110周年を迎え、尚操会では記念式典をはじめ、いくつかの記念事業を実施しました。母校への感謝とその発展を願って取り組んだ記念事業でしたが、皆様のご協力のおかげで、滞りなくすべて完了しましたことを改めてご報告申し上げます。そして、この節目の年を共に祝えたことを嬉しく思います。

令和7年度を迎え、母校は次の10年に向けて、新たな歩みを始めたところです。その新たなスタートを祝うかのように、尚操会に嬉しいニュースが届きました。

今年の春の叙勲において、西高元校長田中(松本)清治先生が瑞宝小綬章を、鳥取大学病院で長年にわたり放射線技師として活躍なさってきた同窓生の山根武史さん(西高24回卒業)が瑞宝双光章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。

田中先生は長年にわたる卓越した教育活動や公務への尽力が認められ、今回の受章となりました。倉吉西高が創立100周年

を迎えた際の校長先生であり、大きな節目に当たって西高の歴史と伝統を大切にしながら、新たな時代へと駒を進めるビジョンをお示しくださり、深い感銘を受けたことをはつきりと覚えております。これからもその豊かなご経験と知見をもって、私たちをご指導くださることを願っております。

また、山根さんの受章は、卓越した専門技術と医療への貢献が高く評価されたものです。高校時代を共に過ごした仲間が表彰の栄に浴したことは、私たち同窓生にとって大きな喜びであり、誇りでもあります。令和元年には会報「尚操」に寄稿文をお寄せいただき、放射線技師としての誇りややりがいについてわかりやすく伝えていただきました。日々研鑽を重ねながら、医療現場で重責を担ってこられたことが今回の受章につながったことと存じます。心からお祝い申し上げます。

お二人のこれまでのご功績に心から敬意を表し、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

倉吉西高という共通のルーツをもつ卒業生の皆様、お一人おひとりがそれぞれの舞台で力を尽くしていらつしやることと思います。そういう仲間がいることを励みに、挑戦を続けたいものです。卒業生の姿が在校生を勇気づけ、在校生のみなさんが未来に向かってチャレンジすることを願っています。

これからも尚操会は皆さんと共に歩みます。卒業生、在校生の皆さん、それぞれの舞台で輝きながら、夢に向かって力強く歩み続けていきましょ！

花・水・木



教師

本庄 大志

今年4月より倉吉西高等学校に教頭として着任した本庄大志と申します。昨年110周年を迎えた伝統ある学校の更なる栄光の一助となれるよう、尽力して参りたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

私自身は東部(鳥取市)の出身で本校の勤務は初めてであり、倉吉西高校の印象は、勉強にも部活動にも励んでいるくらいの認識でした。実際に赴任し、その認識は間違っただけだったことを実感するとともに、それ以上に学校生活を楽しもうとしている生徒、挨拶をはじめ礼儀正しい生徒が多いことに感心しました。

そこには、地域課題に対する解決策等を探索する「チャレンジグループ活動」といった学習のほか、球技会や西高祭といった行事等に生徒が主体的に取り組んでいるということが大きく影響していると思います。教職員は、そのサポート役であり、応援団に徹している姿があります。生徒と教職員が互いに信頼関係にある安心感が、生徒をのびのびと成長させているのだと感じます。そうした上級生を見て、下級生も成長している姿があります。学年が上がるにつれて、挨拶がすっかりできる学校を見るのは、この学校が初めてです。冒頭、伝統のあると言いましたが、3年間の中で、生徒自身が倉吉西高校の文化を築いているのだと感じます。私もしっかり生徒の成長をサポートし、応援していきたいと思っています。

最後になりますが、本校のために尚操会から多大なるサポート、応援をいただいていることに感謝申し上げます。今後も変わらぬご支援と、皆様の益々のご活躍を祈念し、結びとします。どうぞよろしく願います。



古くて新しい生徒が輝いている学校

校長 米田 明万

失礼します。令和7年度倉吉西高校の校長に就任しました米田です。7年前まで本校に十一年間勤務しておりました。従って、新しく赴任したと言うより、しばらくぶりに帰ってきたという印象が強く、学校の至る所に懐かしさを感じています。不易と流行を意識しながら、本校の教育活動充実に対して愚直に動しんでいきたいと考えています。

本校は、大正三年(1914年)六月、倉吉町立実科高等女学校として設立されました。昭和二十八年(1953年)四月に鳥取県立倉吉西高等学校と改称、平成十一

(1999)年四月には単位制を導入し、二期制の普通科高校として今年度で111年目を迎えています。昨年度は110周年記念式典を本校体育館で挙行し、今年度、新たな10年のスタート切っています。過去には全国的にも大変珍しい「生徒憲章」を策定しながら、自律する生徒の育成を掲げ、教育活動を行いました。また、「英語コース」を開設し、特色ある学校づくりを実践したこともありました。平成十一年に県内でも早くから導入した「単位制」は今も継続しており、伝統の中にも時流に依拠した進取の精神を内在している学校として地域からの評価をうけていると自負しています。現在は校訓「立志」のもと、高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)等のデジタル教育やチャレンジング活動に代表される探究活動を教育の軸として、日々生徒の成長に資する様々な

教育活動を行っています。今日の手法のもと、ふるさと鳥取に対する想いを育み、地域貢献し、将来的に地域を支える人材の育成を行っています。スポーツ文化活動も然りです。全国的に活躍が顕著で毎年のように全国上位入賞者を出している弓道部や自転車競技部、地域イベントに参加したり、地域の方をお招きして定期演奏会をしている音楽部を始め、部活動が盛んで多くの生徒が文武両道を実践しています。古くて新しい学校、小規模だけれど生徒が輝いている学校を標榜しながら日々の教育活動を行っています。

何れにしても、底流にあるものは脈々と受け継がれている伝統です。尚操会の皆様の本校に対する深い愛情と御理解の賜物と認知しています。県内のみならず、全国、或いは世界で御活躍の皆様の存在が本校の大きな支えになっていることは言うまでもありません。改めて心から感謝申し上げます。

校歌にもありますが、「栄光のときぞ来ぬ」今このときを大切に、矜持を持って、新しい10年のスタートを切りました。校訓「立志」のもと、今後とも志を立てながら社会で活躍する人材の育成に邁進する所存です。引き続きの御支援、御協力をよろしくお願いします。



人間力を磨く西高での学びを糧に

西高第28回卒業生(昭和56年) 大津 昌克(旧姓野村)

私が西高入学時のクラスは41人で、女子30人、男子11人だった。単純に多数決では女子にはかなわなかった。私は3年間ルーム長を経験したが、女子の意見をしっかりと聞かないとクラスの運営は上手くいかない。男女共同参画社会といわれるずっと前に、すでに男女共同参画を実践していたと思う。西高での学びは今に生かされていると感じることも多々ある。さて、高校を卒業して44年が経ち今年で63歳となる。すでに還暦を通り過ぎたわけだが、当時高校生から見ただ還暦といえ、社会をリタイアし年金で暮らす老人で、隠居するというイメージだった。

しかしながら現実とは違う。世の中は大きく変化し、60歳ではリタイアどころか年金支給もなく、65歳までは労働生産人口にカテゴライズされる。ただ医学はかなり進歩し平均寿命も延び、肉体的にも若くまだまだ現役世代であることは間違いない。また科学技術の著しい発達で、まるでSF映画やアニメのような便利な道具が現実となっている。特に今の生活での必須アイテムはスマホだろう。

平成は激動の時代といえる。パソコンはその先駆けであり、続いて携帯電話である。ポケベルが携帯電話になり、事業者だけでなく一般市民が所有するようになった。

この携帯電話、最初は電話機能だけであったが、メールやカメラが付き、今では複数のアプリを搭載したハンディパソコンであり、本来の通話機能は付属的であると

いえる。今では行政をはじめとするさまざまな手続きや、決済がこのスマホひとつで出来るのだ。さらに驚愕なのは、AIである。まさに日進月歩、猛スピードで進化している。これらの現象から感じるのは、コミュニケーションのあり方が大きく変化したことだ。「ICT」いわゆる「インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー」(情報通信技術)の登場である。

平成10年代半ばには「メディアリテラシー(情報判断能力)」という言葉で問題提起されたこともあったが、現在はフェイクニュースなど、犯罪に利用されることもあり、規制やルール化の整備が遅れているといえる。

思い起こせば高校時代、スマホもパソコンもなく、女子に連絡するのに一苦労だった。それでも夏休みに、学園祭準備で徹夜したり、打ち上げで合コンをしたりボウリングに行ったり、なんとかコミュニケーションはとれていた。懐かしい思い出だ。

道具がいくら便利になっても、それを使うのは人だ。使い方次第で人は幸せになったり不幸になったりする。大事なものは人間の力だ。機械では出来ない、人ならではの能力を磨き発揮することが、社会の営みの中で重要だと感じている。人生100年時代、まだまだ人生の途中である。人との関係を大事にし、学びと実践のスタンスでこれからもチャレンジを続けたい。生涯学びであり、正解のない問いを問い続けながら残された人生を楽しみたい。

創立110周年記念式典

令和6年11月8日（金）本校体育館

本校は令和6年に創立110周年を迎えました。それを記念して令和6年11月8日（金）多くの列席者を招いて本校体育館において、創立110周年記念式典を行いました。

記念講演の菅埜達人さん（西高25回卒）は講演後、本校音楽部とOBの共演による記念演奏もされました。菅埜さんは本校在学中に吹奏楽部（音楽部）を創部された方で、鳥取県警にご勤務中、警察音楽隊に所属され、楽長も務められました。まさに創立110周年にふさわしく、会場を大いに沸かせてくださいました。



世代を超えてつながる絆

西高第37回卒業生（平成2年） 三谷 友理

高校を卒業して30年以上が経ち、日常で高校生活の「あの頃」を思い出することは少なくなりました。

我が子の卒業した学校の方が身近に感じ、新聞やニュースに反応してしまう日々を送っていました。

が、2年前から倉吉西高の運営協議会委員をさせていただくことになり、そこから、「倉吉西高」という文字や言葉にとっても敏感になり、この歳になってやっとな卒業生の自覚が芽生えた気がします。

面白いことに、「倉吉西高」が身近になると、同級生とよく会うようになりました。

卒業してから1度も会っていないかった友だち、同じクラスではなかったのに「あれっ？」と気が付き声を掛け合った同級生、「姿は変わっても気持ちはあの頃のままで会えるんだなあ」と自然と笑顔になる時間がとても大切な時間になった瞬間でした。

とある休日、市内のカフェのイベントに行ってみると、そこには私を含め同級生が4人も！

お互いが「えー○○さん?」「〇組だったよねー」「部活は〇〇」と一瞬にして高校時代に戻った時間でした。

顔を合わせるだけで、時間が巻き戻るような不思議な感覚。

それぞれ歩んできた道は違っても、あの場所でも過ごした日々が、確かに私たちを繋ぎ続けているのだと実感しました。

また、仕事上で、高校の先輩にお会いする機会が多くあり、未

だに「あつ……先輩」と心の中でつぶやいてしまいがちですが、先輩後輩の関わりが心地よく、倉吉西高の卒業生でよかったといつも思わせてもらっています。

「先輩の願いは断りません。」という私に、先輩方は「いつでも助けるから」と力強く言ってくださいます。どんな時でも優しく声をかけてくださり、また地元を盛り上げる姿は、今もあこがれの先輩方です。

高校時代はたった3年間です。その3年間の経験や人とのつながりは、私の仕事、人間関係など、すべての「今」を支えています。

高校生活だったあの頃、仲間と喜びや悩みを分かち合い、努力し、挑戦し、時には挫折も味わい、そのすべてが、私の人生の方向を示す大切な財産となっています。

尚操会とは、高校時代のかけがえのない時間を思い出させてくれ、仲間、先輩後輩との絆に気づかせてくれる、大切な場所なのかもしれません。

倉吉西高卒業生のみならず、私たちはどんな時も、世代が違っても倉吉西高の歴史の中でつながっています。

このつながりがある限り、私たちは決してひとりではないと思えることが今とても幸せです。

今回、寄稿させていただく機会をいただきましたこと、心から感謝いたします。

倉吉西高卒業生のみならず、私たちはどんな時も、世代が違っても倉吉西高の歴史の中でつながっています。

このつながりがある限り、私たちは決してひとりではないと思えることが今とても幸せです。

今回、寄稿させていただく機会をいただきましたこと、心から感謝いたします。

尚操会員として

—創立110周年記念式典に携わって—

西高第26回卒業生（昭和54年） 反房 育子

創立110周年おめでとうございます。

今回、110周年記念式典で記念演奏をされた菅埜さんに、10年前の100周年の節目に相談がありました。「入江さん（当時の尚操会長）から打診があった。音楽部で何かしてもらえないか。何ができるだろうか？」ところが、自分は楽器を持ってはいっても25年くらい吹いていないので、さすがに演奏は無理。そこでつさにひらめいたのが、ヘンデル作曲のオラトリオ『メサイア』よりの『ハレルヤコーラス』。それは私たちが卒業する年の2年前から数年間取り組んでいた曲でした。この曲なら同級生の有志に声をかければ演奏できるのではないかと提案しました。すると、なんと100人近くのOBの方が賛同してくださ

皆さん立場はいろいろですが、仕事をしながら楽しんで活動しています。

そんな私達に昨年、110周年記念式典で記念演奏をされる菅埜さんから、現役の吹奏楽部のメンバーが少ないので楽器の演奏の応援を頼みたいと相談を受けました。楽器の音を出すだけならともかく、演奏するとなると練習してのぞむにしても到底無理な話です。それでもまずは練習風景だけでも見せていただくことにしました。今も吹奏楽をされているOBの方が参加されて練習をしておられる中で、私の現役時代からとてもEuphonium（ユーフォニアム）はとても出番がありそうになく、他に出来ることはないだろうかと考えました。そんな私にパーカッションのバスドラムを担当させていただくことになり、110周年の記念演奏に参加することになったのです。まさか私が孫の世代といってもよい現役の西高生の皆さんと演奏できるとは思ってもみませんでした。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

現役の西高生の演奏といっしょに、私たちのハレルヤ音楽部の合唱をする『ハレルヤコーラス』がいつか実現出来たら……、そんな妄想をしながら自分たちは練習に励んでいます。皆さんありがとうございます。

講師紹介 小谷 和之 (こだに・かずゆき) さん (1988年倉吉西高35回卒業)



■プロフィール

新日本海新聞社中部本社総局長兼編集部長
小学生から野球を続け、倉吉西高在学中は硬式野球部に所属し、白球を追いかけた。最後の夏の県予選は1番・レフトで出場。中学・高校時代はバンド活動で“夢見る少年”の顔も。拓殖大学を卒業し、1992(平成4)年4月に新日本海新聞社入社。販売、報道、事業を経験し、報道では主に政治・行政分野を担当。2021年7月から執行役員中部本社総局長。

事務局より

110周年記念式典を行った都合で、昨年の尚操会総会が書面決議で実施しました。本年(令和7年)は例年の形に戻って、倉吉シティホテルで尚操会総会を実施します。尚操会総会に沢山の同窓生に集まってもらう取組の一つとして、卒業後10年、30年の同窓生の方々に幹事学年をお願いしています。今年度の総会ではつぎの幹事学年にお世話になります。

- ・平成27年3月卒・平成28年3月卒の学年
- ・平成27年3月卒・平成28年3月卒の学年
- ・平成27年3月卒・平成28年3月卒の学年

尚操会 ホームページ紹介

【公式】尚操会 | 鳥取県立倉吉西高等学校同窓会
<http://shosokai.info/index.html>
「倉吉西高同窓会」で **検索**



(7年3月卒・平成27年3月卒の学年は、昨年の総会が書面決議のためご参加いただけなかったため、今年度お世話になります)
総会以外でも同窓会・クラス会を開催されるにあたり、参加人数が10人以上であれば補助金を支給しています。コロナ禍で開催できない時期が過ぎて、毎年尚操会事務局に多くのお問い合わせをいただいております。どうぞご活用ください。
またクラス会の様子を会報に掲載したと思いますので、写真や原稿を送っていただければ幸いです。詳しくは尚操会ホームページの「同窓会・クラス会について」をご覧ください。

令和7年度 尚操会総会のご案内

日時 令和7年8月23日(土)
午後3時～
場所 倉吉シティホテル 2F
総会 午後3時～
講演会 午後4時～
記念撮影・懇親会 午後5時～
会費 3,000円

第6回グラウンドゴルフを楽しむ会

昨年11月に第5回グラウンドゴルフを楽しむ会を開催しましたが、今年も11月8日(土)に計画しています。詳細は尚操会ホームページ等でご案内いたしますので是非ご参加ください。

尚操会名簿(令和7年版) を発刊します

令和7年10月に、5年ぶりの『尚操会名簿』を発刊予定です。7月現在、発刊に向け準備中です。会員の皆様には大変お世話になっています。購入を希望される方は、尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

●1冊 3,900円(送料・税込み)
(振込手数料が別途必要)



創立百周年記念誌 発売中です



創立百周年記念誌の購入を希望される方は、尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

●1冊 5,000円
(振込手数料・送料が別途必要)